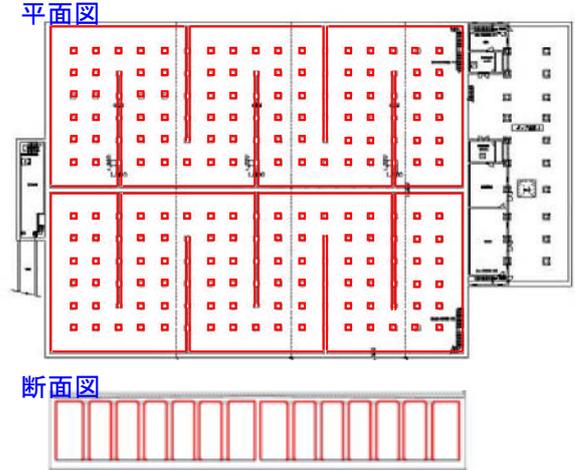


水道施設配水池 築造工事

新設配水池築造工事において、長寿命化を目的とした予防保全対策の表面保護工にCS-21が採用され、水槽内面（水道水が直接触れる部分を含む）に対し、CSⅡ工法にて施工を行った。
（施工面積：約20,000㎡， 施工箇所：外周壁および導流壁・柱・天井全面）



配水池 全景



施工箇所：赤線箇所



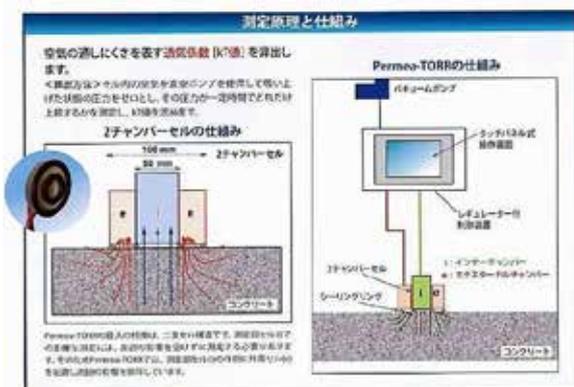
CS-21 塗布状況



CS-21 塗布状況

施工効果確認試験

本件では、CS-21の施工効果確認試験を表層透気試験（トレント法）により行った。
外周壁内面より任意に選定した14箇所の透気係数(kT)を、透気試験機（パーマ・トル）にて施工前と施工から3年後に測定した結果、施工前平均 $1.72(\times 10^{-16} \text{m}^2)$ 、施工3年後平均 $0.41(\times 10^{-16} \text{m}^2)$ と、施工前に比べ、施工後の透気係数が減少する傾向がみられた。この結果から、CS-21塗布により表層部が緻密化し、物質移動抵抗性（耐久性）が向上したことが確認された。



透気試験状況